

## 第3章 青少年の教育

### 第1節 学校教育の概況（教委教育総務課）

#### 1. 学校・園の概況

第3-1-1表 学校・園の概況

（平成21年5月1日現在）

区 校 種	分 設置者別	学 校 数		幼児・児童・生 徒・学生数	本 務 教 員 数
		本 校	分 校		
幼 稚 園	国 立	1		158	8
	公 立	160	6	16,114	1,345
	私 立	25		3,286	242
	計	186	6	19,558	1,595
小 学 校	国 立	1		695	27
	公 立	230	3	86,375	5,166
	私 立	1		188	12
	計	232	3	87,258	5,205
中 学 校	国 立	1		358	20
	公 立	100	1	40,441	2,849
	私 立	5		1,613	119
	計	106	1	42,412	2,988
高 等 学 校	公 立	48	1	32,506	2,320
	私 立	11		7,459	501
	計	59	1	39,965	2,821
特 別 支 援 学 校	国 立	1		52	30
	公 立	14		1,654	1,054
	計	15		1,706	1,084
短 期 大 学	私 立	4		1,200	86
大 学	国 立	2		4,568	521
	公 立	1		2,369	198
	私 立	7		26,703	811
	計	10		33,640	1,530
専 修 学 校	公 立	6		939	78
	私 立	21		1,009	130
	計	27		1,948	208
各 種 学 校	私 立	12		520	58

（資料）県教委教育総務課提供

## 2. 幼稚園

幼稚園は、前年度に比べ公立で2園増加し、192園で、設置者別にみると、国立1園、公立166園（うち分園6園）、私立25園となっています。

幼児数は、19,558人で、前年度に比べ553人減少し、前年度までの9年連続の増加から本年度は減少に転じました。

本務教員数は、1,595人で、前年度に比べ3人増加しました。本務教員1人当たりの幼児数は、12.3人で、前年度に比べ0.3人減少しました。

第3-1-2表 幼稚園の園・幼児・本務教員数

年 度	幼 稚 園			
	園 数 (うち分園)	幼 児 数	本務教員数	本務教員数1人 当たりの園児数
12	191 (6)	17,690	1,206	14.7
13	191 (4)	17,833	1,287	13.9
14	193 (4)	18,612	1,354	13.7
15	194 (4)	19,595	1,449	13.5
16	190 (5)	19,795	1,502	13.2
17	190 (5)	19,826	1,543	12.8
18	189 (5)	19,887	1,533	13.0
19	188 (5)	20,047	1,585	12.6
20	190 (6)	20,111	1,592	12.6
21	192 (6)	19,558	1,595	12.3

(資料) 県教委教育総務課提供

## 3. 小学校

小学校は、前年度に比べて公立で1校減少し235校で、設置者別に見ると、国立1校、公立233校（うち分校3校）、私立1校となっています。

児童数は、87,258人で、前年度に比べ38人増加し、2年連続の増加となりました。

本務教員数は、5,205人で、前年度に比べ57人増加しました。本務教員1人当たりの児童数は、16.8人で、前年度より0.1人減少しました。

第3-1-3表 小学校の校・児童・本務教員数

年 度	小 学 校			
	校 数 (うち分校)	児 童 数	本務教員数	本務教員数1人 当たりの児童数
12	238 (5)	87,072	4,771	18.3
13	237 (5)	86,136	4,788	18.0
14	237 (5)	85,409	4,846	17.6
15	239 (5)	85,170	4,887	17.4
16	238 (4)	85,385	4,949	17.3
17	236 (4)	85,767	4,961	17.3
18	237 (4)	86,465	5,006	17.3
19	237 (4)	86,354	5,094	17.0
20	236 (3)	87,220	5,148	16.9
21	235 (3)	87,258	5,205	16.8

(資料) 県教委教育総務課提供

## 4. 中学校

中学校は、前年度と同じ107校で、設置者別にみると、国立1校、公立101校（うち分校1校）、私立5校となっています。

生徒数は、42,412人で、前年度に比べ454人増加しました。

本務教員数は、2,988人で、前年度に比べ4人増加しました。本務教員1人当たりの生徒数は、14.2人で、前年度より0.1人増加しました。

第3-1-4表 中学校の校・生徒・本務教員数

年 度	中 学 校			
	校 数 (うち分校)	生 徒 数	本務教員数	本務教員数1人 当たりの生徒数
12	104 (1)	48,147	3,005	16.0
13	104 (1)	47,284	3,020	15.7
14	103 (1)	45,683	2,967	15.4
15	107 (1)	44,394	2,992	14.8
16	106 (1)	42,785	2,977	14.4
17	106 (1)	42,261	2,960	14.3
18	106 (1)	41,581	2,907	14.3
19	107 (1)	42,133	2,975	14.2
20	107 (1)	41,958	2,984	14.1
21	107 (1)	42,412	2,988	14.2

(資料) 県教委教育総務課提供

## 5. 高等学校

高等学校は、前年度と同じ全日制55校、定時制3校（他に全日制との併置校4校）、通信制2校（他に定時制との併置校2校）となっています。設置者別にみると、公立49校、私立11校となっています。

生徒数は、39,965人で、前年度に比べ375人減少し、9年連続の減少となりました。内訳は、全日制36,795人（構成比92.1%）、定時制1,331人（構成比3.3%）、通信制1,839人（構成比4.6%）となっており、学科別の構成比は、全日制で普通科71.6%、総合学科9.7%、工業学科6.8%、商業学科4.2%、定時制では、普通科63.7%、工業学科20.1%、食物調理科8.7%と続いています。

本務教員数は、2,821人で、前年度に比べ37人減少しました。内訳は、公立全日制2,202人、私立全日制449人、公立定時制93人、私立定時制24人、公立通信制25人、私立通信制28人となっています。本務教員1人当たりの生徒数は、14.2人で、前年度に比べ0.1人増加しました。

第3-1-5表 高等学校の校・生徒・本務教員数

年 度	高 等 学 校			
	校 数 (うち分校)	生 徒 数	本務教員数	本務教員数1人 当たりの生徒数
12	59 (1)	47,885	3,114	15.4
13	59 (1)	46,952	3,120	15.0
14	59 (1)	45,679	3,082	14.8
15	59 (1)	44,487	3,032	14.7
16	59 (1)	43,819	3,007	14.6
17	59 (1)	42,635	2,957	14.4
18	59 (1)	41,774	2,894	14.4
19	59 (1)	40,476	2,857	14.2
20	60 (1)	40,340	2,858	14.1
21	60 (1)	39,965	2,821	14.2

(資料) 県教委教育総務課提供

第3-1-6表 高等学校学科別生徒数 (全日制)

単位 (人・%)

	普 通	工 業	商 業	農 業	家 庭	総 合	そ の 他	計
県 立	20,782	2,517	1,420	1,220	471	3,174	935	30,519
私 立	5,569	0	109	0	122	404	72	6,276
計	26,351	2,517	1,529	1,220	593	3,578	1,007	36,795
構成比(%)	71.6	6.8	4.2	3.3	1.6	9.7	2.7	100.0

(資料) 県教委教育総務課提供

## 6. 特別支援学校

特別支援学校は、前年度と同じ15校となっています。障害種別で見ると視覚障害を対象とする学校1校、聴覚障害を対象とする学校1校、知的障害・肢体不自由または病弱を対象とする学校13校となっています。設置者別にみると、国立1校、公立14校となっています。

幼児・児童・生徒数は、1,706人で、前年度に比べ88人増加し、15年連続の増加となっています。内訳は、視覚障害の特別支援学校36人、聴覚障害の特別支援学校79人、知的障害・肢体不自由・病弱の特別支援学校1,591人で、前年度に比べ、視覚障害の特別支援学校は2人減少、聴覚障害の特別支援学校は2人増加、知的障害・肢体不自由・病弱の特別支援学校は88人増加となっています。

本務教員数は、1,084人で、前年度に比べ26人増加しました。本務教員1人当たりの幼児・児童・生徒数は、1.6人で、前年度と比べ0.1人増加しました。

第3-1-7表 特別支援学校の校・幼児児童生徒・本務教員数

年 度	特別支援学校全体				視覚障害			聴覚障害			知的障害・肢体不自由・病弱		
	校数 (うち分校)	幼児・ 児童・ 生徒数	本務 教員数	本務教員数 1人当りの 生徒数	校数	幼児・ 児童・ 生徒数	本務 教員数	校数	幼児・ 児童・ 生徒数	本務 教員数	校数	児童・ 生徒数	本務 教員数
12	14(1)	1,069	870	1.2	1	64	50	1	76	60	12(1)	929	760
13	14(1)	1,127	893	1.3	1	62	50	1	79	64	12(1)	986	779
14	14(1)	1,175	921	1.3	1	56	51	1	74	63	12(1)	1,045	807
15	14(1)	1,227	933	1.3	1	59	48	1	75	63	12(1)	1,093	822
16	13	1,290	961	1.3	1	54	50	1	75	66	11	1,161	845
17	13	1,346	961	1.4	1	47	47	1	71	65	11	1,228	849
18	14	1,440	1,002	1.4	1	37	42	1	81	64	12	1,322	896
19	15	1,530	1,024	1.5	1	37	39	1	82	66	13	1,411	919
20	15	1,618	1,058	1.5	1	38	33	1	77	66	13	1,503	959
21	15	1,706	1,084	1.6	1	36	34	1	79	72	13	1,591	978

(資料) 県教委教育総務課提供

## 7. 大学・短期大学

大学は、前年度に比べ私立で1校増加し10校で、設置者別にみると、国立2校、公立1校、私立7校となっています。短期大学は、前年度と同じ4校で、すべて私立となっています。

学生数は、大学33,640人、短期大学1,200人となっています。

第3-1-8表 大学・短期大学の校・学生・本務教員数

年 度	大 学			短 期 大 学		
	校数	学 生 数	本務教員数	校数	学 生 数	本務教員数
12	7	27,801	1,242	5	1,895	114
13	7	27,985	1,248	5	1,748	108
14	7	28,036	1,278	5	1,757	112
15	10	29,128	1,378	5	1,750	102
16	10	30,229	1,473	5	1,604	103
17	9	30,935	1,481	4	1,596	89
18	9	32,770	1,515	4	1,518	93
19	9	32,893	1,479	4	1,306	97
20	9	35,699	1,497	4	1,236	92
21	10	33,640	1,530	4	1,200	86

(資料) 県教委教育総務課提供

## 8. 専修学校・各種学校

専修学校は、前年度と同じ27校で、設置者別にみると、公立6校、私立21校となっています。

各種学校は、前年度と同じ12校で、すべて私立となっています。

生徒数は、専修学校1,948人、各種学校520人となっています。

第3-1-9表 専修学校・各種学校の校・生徒・本務教員数

年 度	専 修 学 校			各 種 学 校		
	校 数	生 徒 数	本務教員数	校 数	生 徒 数	本務教員数
12	27	2,771	206	13	817	75
13	27	2,778	227	12	853	66
14	26	2,797	223	12	771	70
15	27	2,747	228	12	846	71
16	27	2,699	247	12	738	62
17	26	2,519	227	11	835	63
18	26	2,242	215	12	787	64
19	27	2,097	212	12	764	63
20	27	1,978	212	12	643	59
21	27	1,948	208	12	520	58

(資料) 県教委教育総務課提供

## 9. 外国人児童・生徒の状況

公立学校に在籍する外国人児童生徒数(平成20年5月 県統計課「学校基本調査」より)は、小学校においては982人、中学校においては320人となっています。日本語指導が必要な児童生徒数(平成20年9月調査)は、小学校に738人(95校)、中学校に226人(44校)、合計964人(139校)で、昨年の同時期と比べると104人の増加であり、ここ数年増加の傾向にあります。

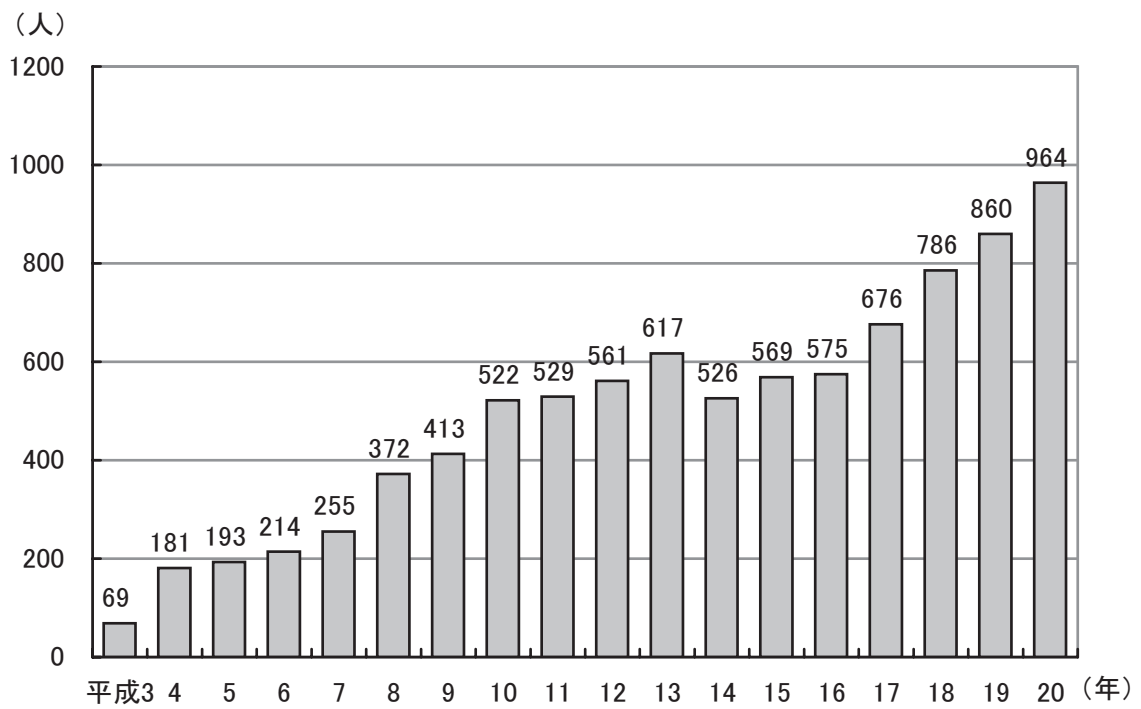
第3-1-10表 日本語指導が必要な外国人児童生徒数(公立小中学校)

(各年9月1日現在)

	平成3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
小学校	64	148	156	174	196	281	309	389	385	408	440	369	415	410	505	600	659	738
中学校	5	33	37	40	59	91	104	133	144	153	177	157	154	165	171	186	201	226
合 計	69	181	193	214	255	372	413	522	529	561	617	526	569	575	676	786	860	964

(資料) 文部科学省「日本語指導が必要な外国人児童生徒の受入れ状況等に関する調査(平成20年度)」より

第3-1-1図 日本語指導が必要な外国人児童生徒数の推移（公立小中学校）



（資料）文部科学省「日本語指導が必要な外国人児童生徒の受入れ状況等に関する調査（平成20年度）」より

## 第2節 進路状況（教委教育総務課）

### 1. 中学校卒業生

#### (1) 卒業後の状況

平成21年3月の卒業生数は13,746人（男子6,981人、女子6,765人）で、前年より242人減少しました。卒業生の進路は、高等学校等進学者13,531人（男子6,846人、女子6,685人）、専修学校（高等課程）進学者4人（男子2人、女子2人）、専修学校（一般課程）2人（女子2人）、公共職業能力開発施設等入学者23人（男子20人、女子3人）、就職者51人（男子34人、女子17人）、その他135人（男子79人、女子56人）となっています。

第3-2-1表 中学校の進路別卒業生数の推移

単位（人）

区分 卒業年月	卒業生総数	A 高等学校等 進学者	B 専修学校 （高等課程） 進学者	C 専修学校 （一般課程） 等入学者	D 公共職業能 力開発施設 等入学者	就 職 者	そ の 他	A・B・C・D のうち就職者 （再掲）
平成17年3月	14,515	14,252	3	0	20	74	166	13
18年3月	14,370	14,084	7	1	23	83	172	6
19年3月	13,922	13,675	9	1	12	65	160	3
20年3月	13,988	13,745	5	2	24	78	134	4
21年3月	13,746	13,531	4	2	23	51	135	5

（注）各年5月1日現在の数。就職者には就職しながら進学・入学した者を含まない。

（資料）県教委教育総務課提供

#### (2) 高等学校等進学者の状況

平成21年3月卒業生の高等学校等進学者数は、13,531人で、これには高等学校、高等専門学校、特別支援学校高等部の本科へ進学した者および就職しながら進学した者を含んでいます。前年と比較すると、進学者数は214人減少し、進学率（卒業者に占める進学者の割合）は、前年度より0.1ポイント増の98.4%でした。また、進学率の推移をみると、昭和59年3月卒業生で女子の率が男子を上回ってからここ26年間連続して女子が男子を上回っています。

一方、進学者の内訳をみると、全日制高等学校（県外含む）が12,854人（95.0%）で最も多く、定時制高校（県外含む）が282人（2.1%）、通信制高校（県外含む）が209人（1.5%）となっており、ついで特別支援学校高等部、高等専門学校となっています。また、県外への進学者数は、822人で進学者総数の6.1%の比率となっています。

県内の全日制高校と定時制高校へ進学した者を学科別にみると、普通科が8,783人（構成比70.6%）、総合学科が1,209人（9.7%）、工業学科が932人（7.5%）、商業学科が520人（4.2%）、農業学科が439人（3.5%）などとなっています。

第3-2-2表 中学校卒業生の進学状況（平成21年3月卒業生）

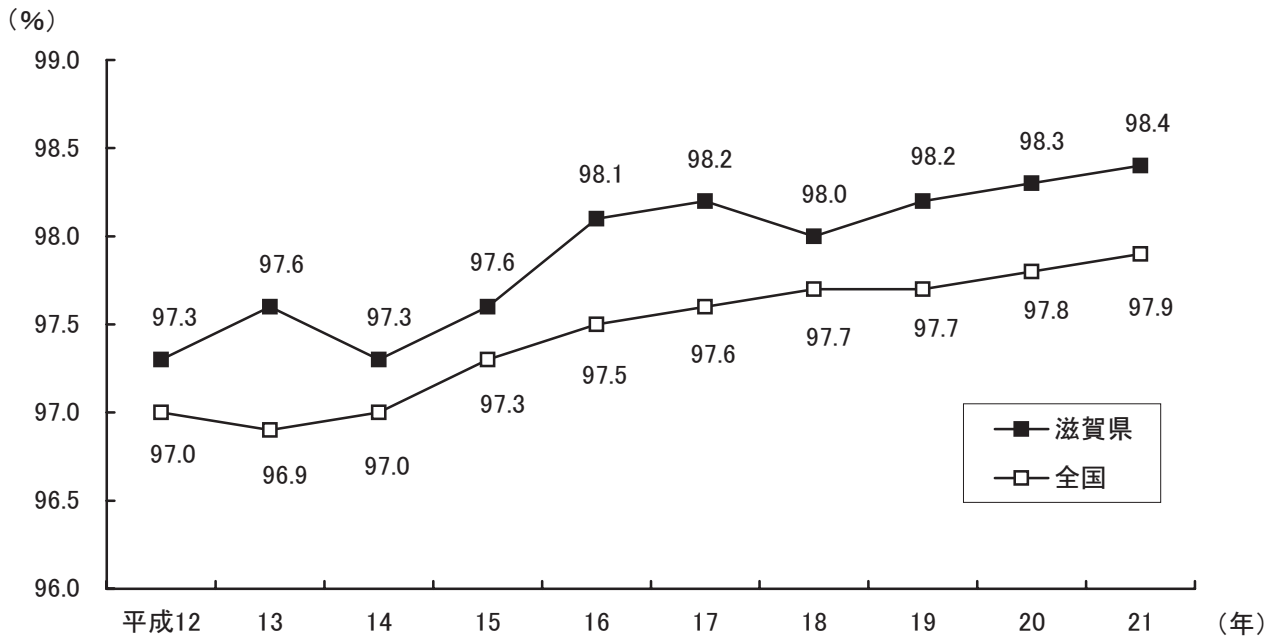
単位（人・%）

高等学校等 進学者総数	県 内					県 外					
	全日制	定時制	通信制	特別支援	計	全日制	定時制	通信制	高等専門 学 校	特別支援	計
13,531	12,183	256	138	132	12,709	671	26	71	54	0	822
100.0	90.0	1.9	1.0	1.0	93.9	5.0	0.2	0.5	0.4	0.0	6.1

（資料）県教委教育総務課提供



第3-2-1図 高等学校等進学率の推移（各年3月卒）



(資料) 県教委教育総務課提供

第3-2-3表 県内の全日制・定時制高校進学者の学科別内訳（平成21年3月卒業者）

単位（人・%）

総数	普通	農業	工業	商業	家庭	理数	音楽	美術	体育	福祉	国際	外国語	食物調理	総合
12,439	8,783	439	932	520	197	79	35	40	40	65	75	0	25	1,209
100.0	70.6	3.5	7.5	4.2	1.6	0.6	0.3	0.3	0.3	0.5	0.6	0.0	0.2	9.7

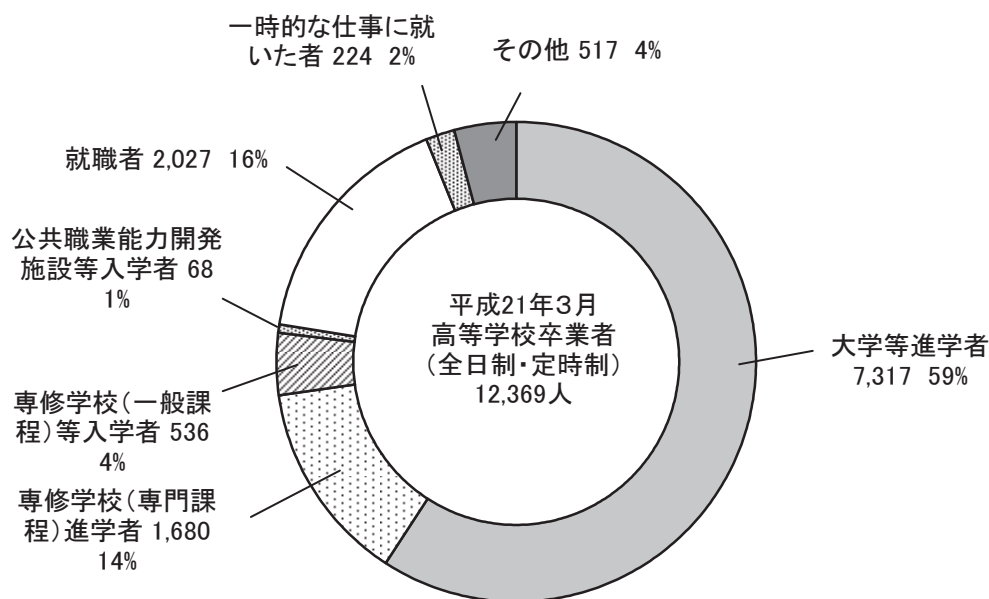
(資料) 県教委教育総務課提供

## 2. 全日制・定時制高等学校卒業者

### (1) 卒業後の状況

平成21年3月の県内全日制・定時制高等学校卒業者数は12,369人（男子6,294人、女子6,075人）で30人減少しました。課程別にみると、全日制12,056人（卒業者総数の97.5%）、定時制313人（同2.5%）となっています。卒業者の進路は、大学等進学者7,317人（男子3,658人、女子3,659人）、専修学校（専門課程）進学者1,680人（男子656人、女子1,024人）、専修学校（一般課程）等入学者536人（男子414人、女子122人）、公共職業能力開発施設等入学者68人（男子61人、女子7人）、就職者2,027人（男子1,180人、女子847人）、一時的な仕事に就いた者224人（男子68人、女子156人）、その他517人（男子257人、女子260人）となっています。

第3-2-2図 全日制・定時制高等学校卒業者の進路状況（平成21年5月1日現在）



(資料) 県教委教育総務課提供

第3-2-4表 全日制・定時制高等学校の進路別卒業生数の推移

単位(人)

区分	卒業生総数	A 大学等 進学者	B 専修学校 (専門課程) 進学者	C 専修学校 (一般課程) 等入学者	D 公共職業能 力開発施設 等入学者	就職者	一時的な 仕事に 就いた者	その他	A・B・C・ Dのうち 就職者 (再掲)
平成17年3月	13,553	7,055	2,414	639	112	2,213	387	733	0
18年3月	13,225	7,084	2,240	605	105	2,232	324	635	0
19年3月	13,211	7,333	2,092	581	88	2,302	277	538	2
20年3月	12,399	7,044	1,877	534	64	2,232	161	487	0
21年3月	12,369	7,317	1,680	536	68	2,027	224	517	2

(注) 各年5月1日現在の数。就職者には就職しながら進学・入学した者を含まない。

(資料) 県教委教育総務課提供

## (2) 大学等進学者の状況

平成21年3月卒業者のうち、進学者は7,317人(男子3,658人、女子3,659人)で、これには大学(学部)、短期大学(本科)および大学・短期大学の通信教育部、これらに進学して同時に就職した者を含んでいます。進学者は、前年より273人増加し、進学率(卒業者に占める進学者の割合)も59.2%と2.4ポイント増加しました。男女別では、男子58.1%、女子60.2%で、前年と比較して男子は2.0ポイント、女子は2.7ポイント増加しました。

大学等進学者の内訳は、大学（学部）進学者が6,212人で、進学者合計の84.9%、短期大学（本科）への進学者は1,099人で進学者合計の15.0%、その他は6人となっています。進学先の地域区分別にみると、京都府が最も多く2,846人、ついで県内の1,794人、大阪府1,366人の順になっています。県内の大学・短大に進学した者は、進学者全体の24.5%となっています。

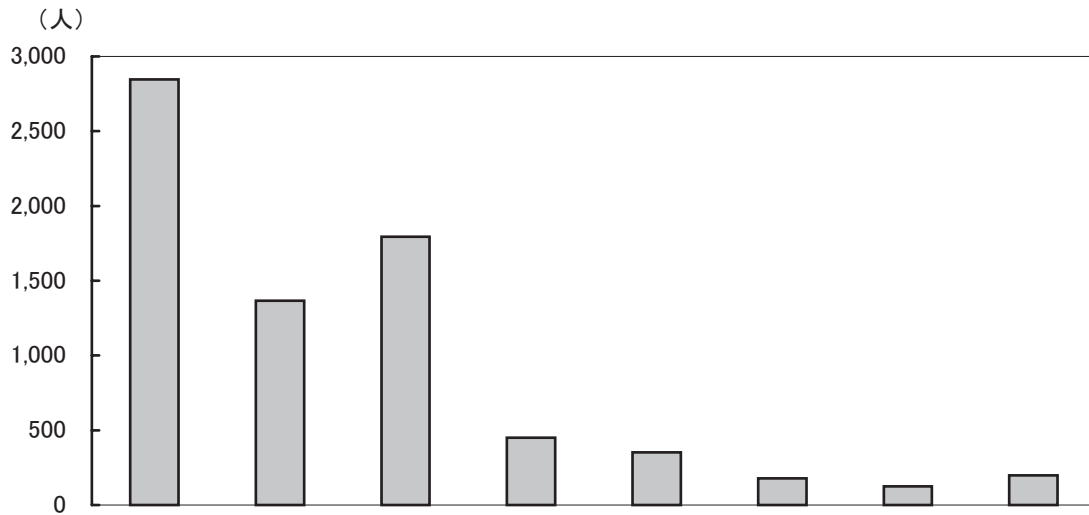
第3-2-5表 全日制・定時制高等学校卒業者の学校種類別進学状況（平成21年3月卒業者）

単位（人・%）

	大学等進学者総数	大 学（学部）				短期大学（本科）				その他
		国 立	公 立	私 立	計	国 立	公 立	私 立	計	
男 子	3,658	429	194	2,925	3,548	0	1	104	105	5
構成比	100.0	11.7	5.3	80.0	97.0	0.0	0.0	2.8	2.9	0.1
女 子	3,659	298	197	2,169	2,664	2	10	982	994	1
構成比	100.0	8.1	5.4	59.3	72.8	0.1	0.3	26.8	27.2	0.0
合 計	7,317	727	391	5,094	6,212	2	11	1,086	1,099	6
構成比	100.0	9.9	5.3	69.6	84.9	0.0	0.2	14.8	15.0	0.1

（資料）県教委教育総務課提供

第3-2-3図 地域区分別大学（学部）・短期大学（本科）進学者数（平成21年3月卒業者）

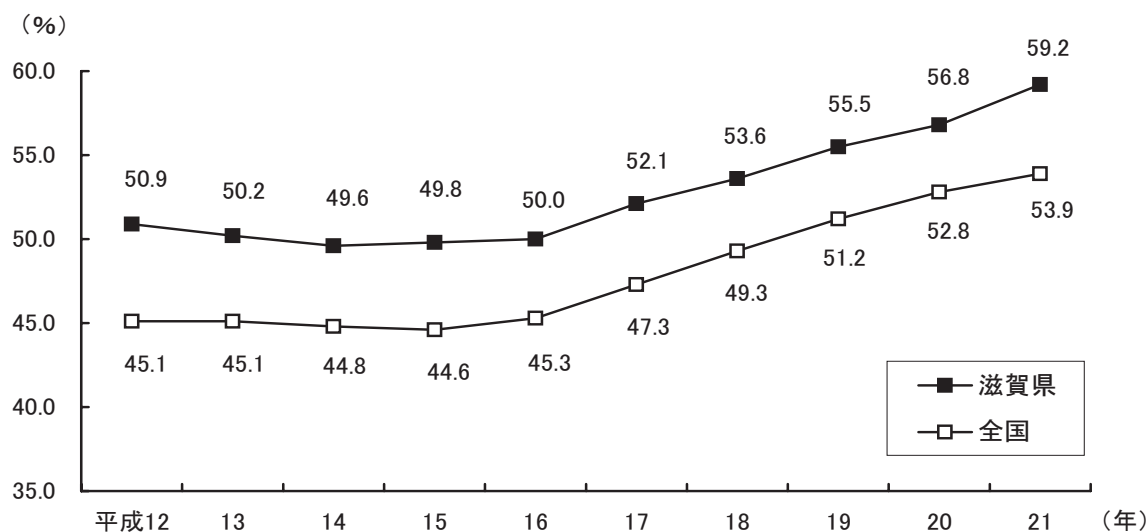


	京 都	大 阪	滋 賀	中 部	近 畿	北 陸	東 京	その他	総 数
進学者数(人)	2,846	1,366	1,794	450	353	179	125	198	7,311
構成比(%)	38.9	18.7	24.5	6.2	4.8	2.4	1.7	2.7	100.0

（備考）近畿は、兵庫、奈良、和歌山をいう

（資料）県教委教育総務課提供

第3-2-4図 大学等進学率の推移（各年3月卒）



(資料) 県教委教育総務課提供

### 3. 通信制高等学校卒業生

平成21年3月の県内通信制高等学校卒業生総数は409人（男子194人、女子215人）で、前年度より77人増加しました。

卒業後の進路は、大学等進学者67人、専修学校（専門課程）進学者69人、専修学校（一般課程）1人、公共職業能力開発施設等入学者3人、就職者77人、その他192人となっています。

大学等進学者数は前年より12人増加し、進学率（卒業者に占める進学者の割合）は16.4%で前年より0.2ポイント減少しました。進学者の内訳は、大学（学部）41人、短期大学（本科）20人、その他6人となっています。

### 4. 特別支援学校卒業生

#### (1) 中学部卒業生

平成21年3月の県内特別支援学校中学部卒業生総数は119人（男子73人、女子46人）で、前年より1人減少しました。

卒業後の進路は、高等学校等進学者118人で、前年より1人増加し、進学率（卒業者に占める進学者の割合）は99.2%で前年より1.7ポイント増加しました。進学者の内訳は、全日制高校1人、特別支援学校高等部116人となっています。

#### (2) 高等部卒業生

平成21年3月の県内特別支援学校高等部卒業生総数は213人（男子140人、女子73人）で、前年より29人増加しました。

卒業後の進路は、大学等進学者6人、専修学校（専門課程）進学者2人、公共職業能力開発施設等入学者5人、就職者54人、その他146人となっています。

大学等進学者は前年より2人増加し、進学率（卒業者に占める進学者の割合）も2.8%で前年より0.6ポイント増加しました。進学者の内訳は、大学（学部）2人、短期大学（本科）3人、その他1人となっています。

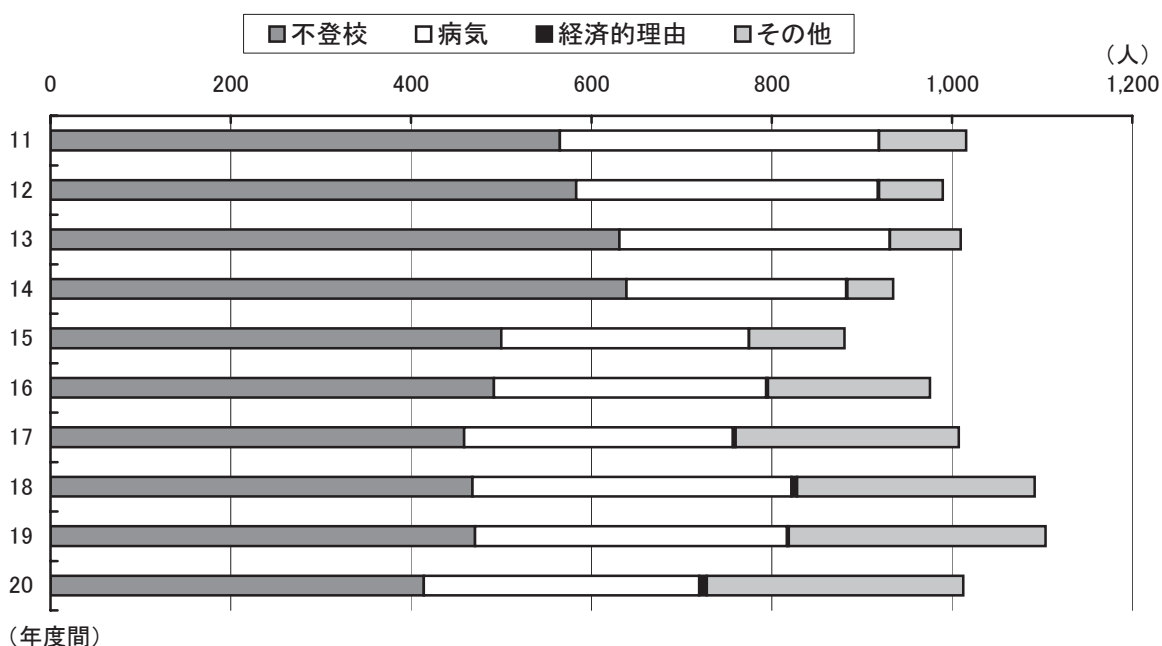
### 第3節 学校教育の状況

#### 1. 長期欠席 (統計課)

##### (1) 小学校

平成20年度間の30日以上長期欠席者数は1,013人で、前年度間より91人減少しました。全児童に占める割合は1.16%となっています。その理由をみると「不登校」による欠席が414人と最も多く、長期欠席者の40.9%を占めています。次いで「病気」による欠席が306人となっています。

第3-3-1図 理由別長期欠席者数 (小学校)



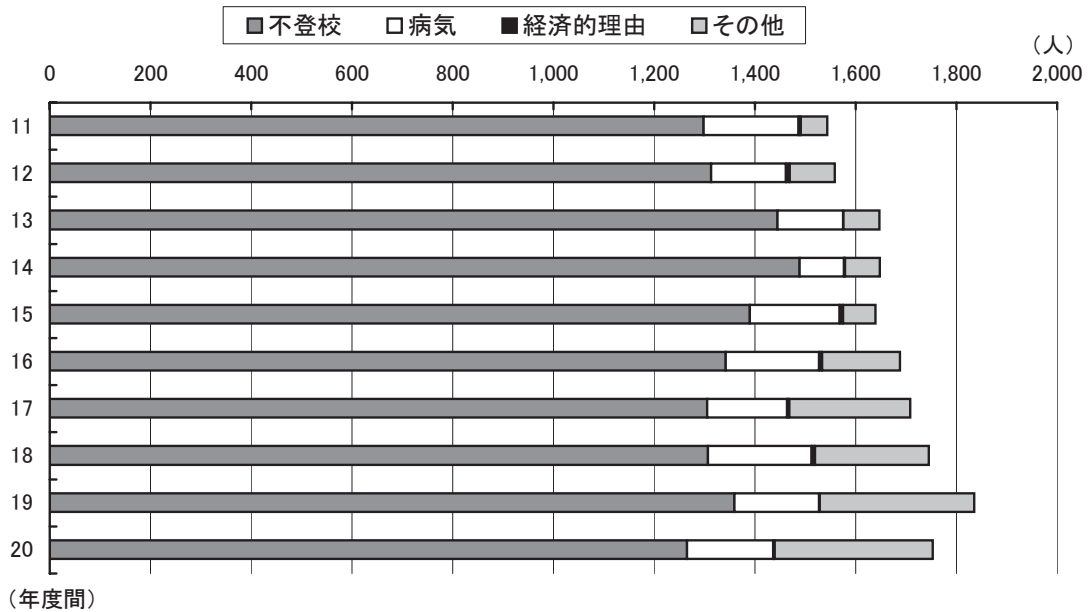
年度間	不登校	病気	経済的理由	その他	総数	総児童数に占める割合
11	565	354	-	97	1,016	1.14
12	583	335	1	71	990	1.14
13	631	300	-	79	1,010	1.17
14	639	244	1	51	935	1.09
15	500	275	-	106	881	1.03
16	492	302	2	180	976	1.14
17	459	298	3	248	1,008	1.18
18	468	354	6	264	1,092	1.26
19	471	346	2	285	1,104	1.28
20	414	306	8	285	1,013	1.16

(資料) 県統計課「学校基本調査」より

(2) 中学校

平成20年度間の30日以上長期欠席者数は1,754人で、前年度間より82人減少しました。全生徒に占める割合は4.18%となっています。その理由をみると「不登校」が1,265人で最も多く、長期欠席者の72.1%を占めています。次いで「その他」が315人となっています。

第3-3-2図 理由別長期欠席者数（中学校）



年度間	不登校	病 気	経済的理由	そ の 他	総 数	総児童数に占める割合
11	1,298	189	4	53	1,544	3.12
12	1,313	149	7	90	1,559	3.24
13	1,445	131	-	72	1,648	3.49
14	1,489	88	2	70	1,649	3.61
15	1,390	179	6	65	1,640	3.69
16	1,342	186	5	156	1,689	3.95
17	1,305	159	4	241	1,709	4.04
18	1,307	206	6	227	1,746	4.20
19	1,359	169	1	307	1,836	4.36
20	1,265	172	2	315	1,754	4.18

(資料) 県教委教育総務課提供

## 2. 中途退学 (教委学校教育課)

平成20年度の公立高等学校全日制の中途退学者は414人で、4月1日現在の在籍者数に占める割合(中退率)は1.33%です。平成19年度(479人、1.52%)より65人減少し、率では0.19ポイントの減少でした。

学年別にみると、1年生が264人、2年生が109人、3年生が41人で、1年生が中途退学者全体の63.8%を占めています。

中途退学の主な理由としては、「学校生活・学業不適応」「進路変更」が多く、2つ合わせて、中途退学者全体の78.7%を占めています。なお、「学校生活・学業不適応」には「もともと高校生活に熱意がない」「授業に興味がわからない」「人間関係がうまく保てない」「学校の雰囲気合わない」が、「進路変更」には「就職を希望」「別の高校への入学を希望」「高等学校卒業程度認定試験の受験を希望」などが含まれます。

第3-3-1表 過去5年間の学年別中途退学者数(公立全日制高校)

単位(人・%)

年度 \ 学年	1年	2年	3年	計	在籍者	中退率(%)
16	405	163	44	612	35,594	1.72
17	336	153	29	518	34,283	1.51
18	337	145	52	534	32,740	1.63
19	300	141	38	479	31,498	1.52
20	264	109	41	414	31,118	1.33
割合(%)	63.8	26.3	9.9	100.0		

(資料) 県教委学校教育課 提供

第3-3-2表 平成20年度 理由別学年別中途退学者数(公立全日制高校)

単位(人・%)

学年 \ 理由	病気・けが・死亡	学業不振	学校生活学業不適応	経済的 家庭的 理由	問題行動	進路変更	その他	計
1年	7	29	104	0	15	104	5	264
2年	2	6	38	3	1	53	6	109
3年	4	1	19	1	4	8	4	41
計	13	36	161	4	20	165	15	414
割合(%)	3.1	8.7	38.9	1.0	4.8	39.9	3.6	100.0

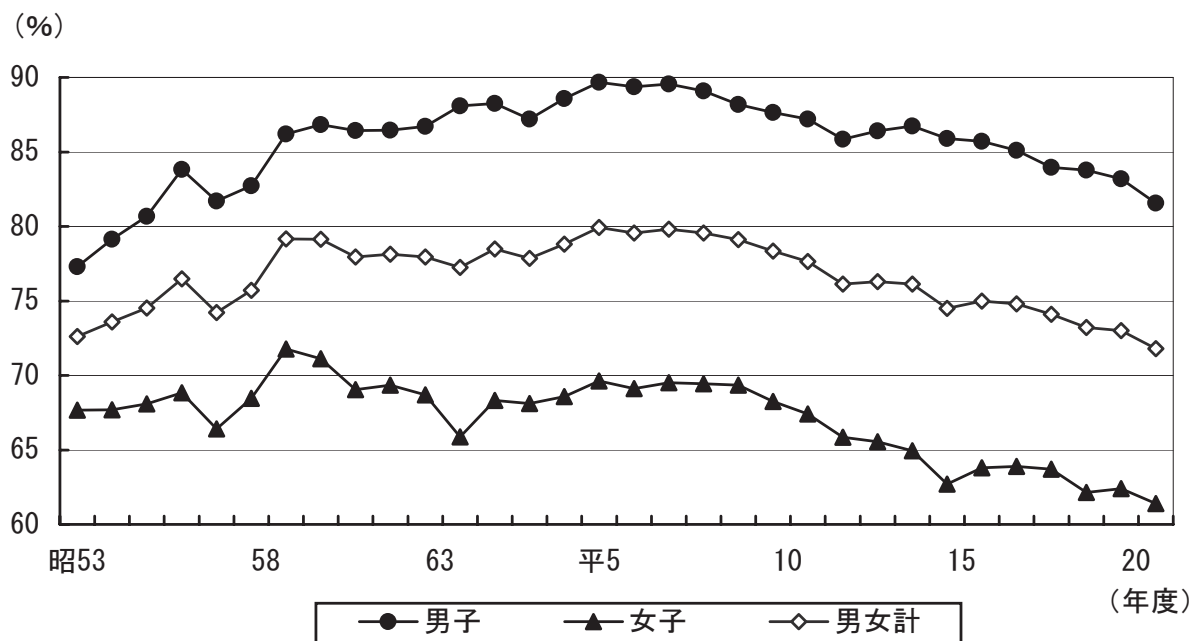
(資料) 県教委学校教育課 提供

## 第4節 部活動（教委スポーツ健康課・学校教育課）

### 1. 中学校

平成21年5月1日現在における公立中学校の運動部加入状況は、男子81.6%、女子で61.4%となっています。最近は加入率が低下傾向にあり、全体で71.8%となっています。

第3-4-1図 公立中学校における運動部加入率の推移



(資料) 県教委スポーツ健康課 提供

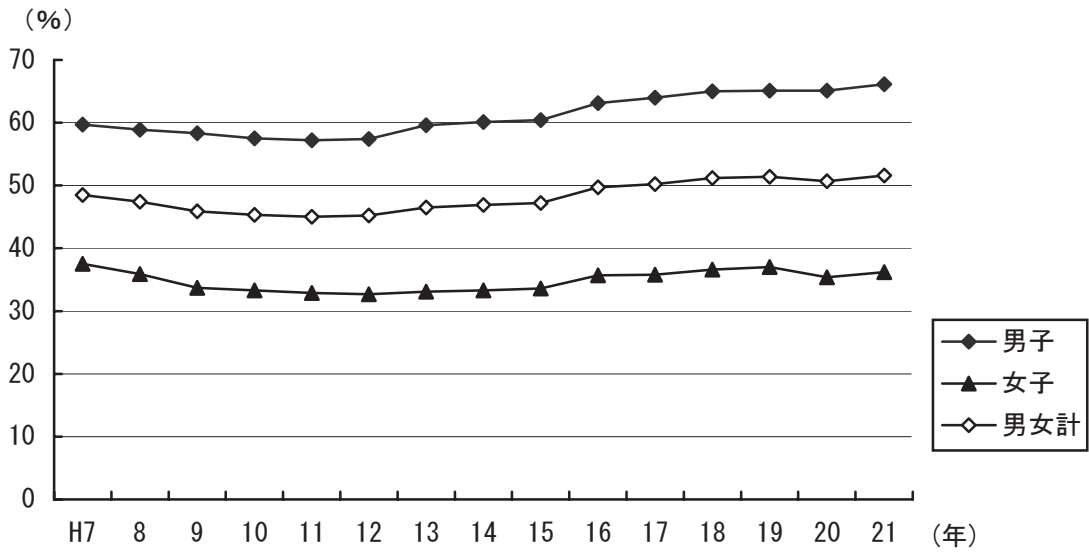
### 2. 高等学校

#### (1) 運動部

平成21年5月1日現在における県内高等学校の運動部加入状況は、全日制の男子66.1%、女子36.2%、全体で51.6%、定時・通信制の男子13.9%、女子4.3%、全体で9.1%となっています。

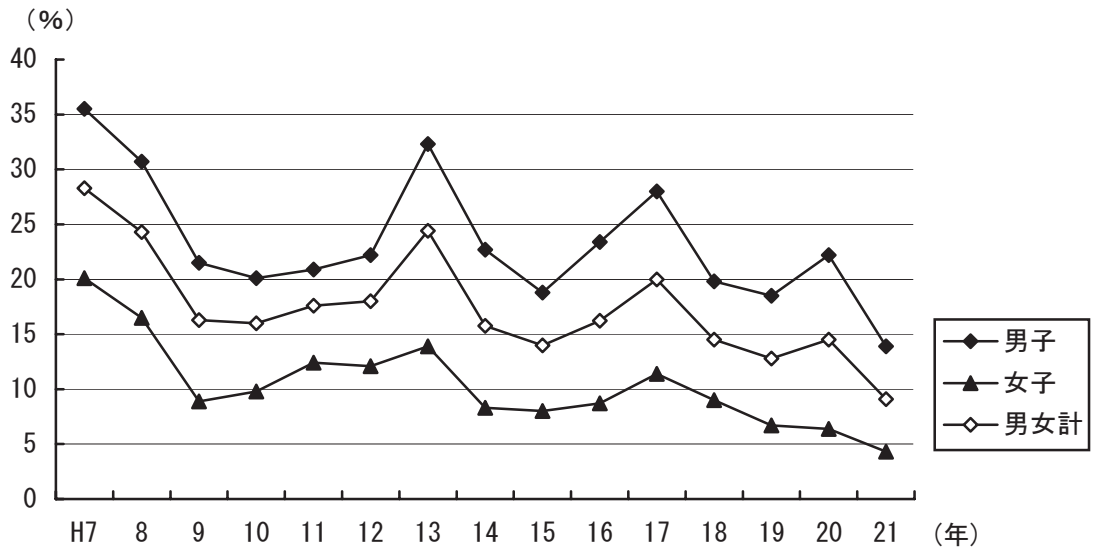


第3-4-2図 高等学校（全日制）における運動部加入率の推移



(備考) 各年5月1日現在  
 加入率は、部員数/全生徒数で算出  
 (資料) 県教委スポーツ健康課 提供

第3-4-3図 高等学校（定時・通信制）における運動部加入率の推移



(備考) 各年5月1日現在  
 加入率は、部員数/全生徒数で算出  
 (資料) 県教委スポーツ健康課 提供

(2) 文化部

文化部への加入率は、18.09%となっており、特に吹奏楽に加入者が多くなっています。

第3-4-1表 高等学校における文化部加入状況

(平成21年5月1日現在)

	部 名	総部員数(人)	加入率(%)	備 考
1	合 唱	144	0.37	高文連加盟
2	吹 奏 楽	1,985	5.17	
3	邦 楽	107	0.28	
4	音 楽 ・ 器 楽 ・ 声 楽	200	0.52	
5	演 劇	220	0.57	
6	美 術 ・ 工 芸	863	2.25	
7	書 道	380	0.99	
8	写 真	270	0.70	
9	マ ー チ ン グ バ ン ド	25	0.07	
10	囲 碁	27	0.07	
11	将 棋	75	0.20	
12	囲 碁 ・ 将 棋	50	0.13	
13	放 送	240	0.62	
14	新 聞	85	0.22	
15	自 然 科 学	209	0.54	
16	小倉百人一首かるた	24	0.06	
17	郷 土 芸 能	0	0.00	その他
18	弁 論	14	0.04	
19	文 芸	303	0.79	
20	社 会 問 題 研 究	77	0.20	
21	茶 道	298	0.78	
22	華 道	154	0.40	
23	茶 華 道	618	1.61	
24	コ ン ピ ュ ー タ	294	0.77	
25	英 会 話	291	0.76	
	合 計	6,953	18.09	

(備考) 加入率は、部員数/全生徒数で算出

(資料)「県高等学校文化連盟 文化部基本調査 平成21年5月」参考